



編集発行 第27号  
群馬県立桐生工業高等学校  
桐生市西久方町1-1-41  
TEL (0277) 22-7141  
FAX (0277) 46-4703  
同窓会事務局 編集部  
印刷 株式会社大間々印刷

副会長挨拶

我桐工の成長を

副会長 田邊賢二



挨拶を申し上げます。

同窓会の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。この夏は異常気象の影響でしようか、梅雨前から非常に暑い日が続き、梅雨が終わり、これから本格的な暑さが来るのかと思っていながら、やけに涼しい日が続く、今までに経験した事がないような日々でした。また、大雨の災害が日本全国に起きて各地に大被害がもたらされました。皆様のなかに於かれましては大変ご苦労されている方々があられるのではないかとご推察申し上げます。

恒例の同窓会親善ゴルフ大会は8月23日に桐生カントリークラブで開催され、百九十名ほどの大きな大会となりました。会長不在の中で副会長・事務局・担当の先生方のご協力により、ブレイク中雨の時もありま

したが無事大会を運ぶことができました。大会参加者の最高齢は90才でしたが、あのシャキッとした姿勢と元気に参加者一同圧倒されました。お元気でいつまでも参加頂けるよう心から願っております。

時代の流れで少子化の時代を迎え桐生・みどり地域の高等学校の数の再編、7校から5校へと現在、論議されています。県や各学校の校長先生また、同窓会長や有識者で話合われております。何年かのには再編されるようです。我桐工は日本の工業を担うという大役を持っています。

桐生・みどり地域の工業高校として長い伝統と比喩なき存在感で桐生に残る高校としてよりよく成長させていっていただきたいと願っております。学校行事に参加させていただき、生徒のいきいきとした行動、規律のある行動、まったく素晴らしい生徒の皆さんです。これらを育て慈しんでおられる校長先生や先生方の不断の努力が目に見えるようです。こんな素晴らしい学校生活を見せられ、我々同窓会も一生懸命応援していきたいと思えます。

最後になりますが会長の早い病氣回復を願っています。母校の発展のため同窓会の皆様のますますのご協力をお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

校長挨拶

「自分の得意なこと」が「いずれ人の役に立つこと」になることを願って

校長 大谷龍二



「桐生第27号」の発行を心からお喜び申し上げます。また、日頃本校に対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は4月より本校へ赴任いたしました。本校は、今年で創立81年の伝統ある工業高校であり、本校の更なる発展のために一生懸命頑張りたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

平成27年度現在、2万名を超える同窓会員各位が地元桐生をはじめとする県内各地はもとより、広く全国や海外でも各界各層にわたって活躍されており、私ども教職員や生徒に多大なる力を与えていただいております。

これまで同窓会総会、関西支部総会、笠懸支部総会に参加をさせていただき、多くの皆様と親交を深めさせていただきました。同窓生の母校に寄せた熱き思いに触れるとともに、親善ゴルフ大会では、会員の皆様の元気な姿を拝見し、桐工同窓会の勢いを感じました。

5月に行われました開校記念日には記念講演として、「就活失敗、思いがけない方向へ」という演題で、

講師にシルク・ドゥ・ソレイユのホルテオで活躍しているアクロバットアーティストの奥澤秀人氏(H12・3機械科卒)をお招きして講演をしていただきました。生徒は、とても説得力のある話に聞き入っており、「失敗しても後悔はない。同じ失敗をしないために反省をして、次につなげる。」という言葉が印象的でした。

部活動では、全日制で体操競技部、少林寺拳法部、自転車競技愛好会が関東大会、写真部が北関東大会に出場いたしました。また、定時制でソフトテニス部、陸上競技部、剣道部、軟式野球部(伊工と合同チーム)が全国大会に出場いたしました。

生徒諸君には、積極的に資格を取得し、専門高校ならではの体験学習をはじめ多様な学びを通して、「自分の得意なこと」が「いずれ人の役に立つこと」になることを願っており、これからも文武両道、活力ある学校づくりに励みたいと思っております。

結びに、同窓会員の皆様には心より感謝申し上げます。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のますますのご健康とご発展を祈念いたします。

開校記念講演

演題「就活失敗、思いがけない方向へ」

講師 奥澤秀人先生

(H12・機械科1組卒)シルク・ドゥ・ソレイユアクロバットアーティスト

本年度は5月8日(金)に在学時

には体操競技部でインターハイ(全国個人総合2位)や国体で活躍、現在、シルク・ドゥ・ソレイユ(世界を巡るカナダのパフォーマンス集団)ホルテオで唯一の日本人パフォーマンスであります奥澤秀人先生をお招きし、開校記念講演会を開催しました。

小学生から始めた体操競技と現職のシルク・ドゥ・ソレイユでの公演生活を二つの人生とし、体操競技引退後、消防士受験不合格、鉄棒・トランポリンの運動能力は勿論、対応能力を試され「どんぐりころころ」を熱唱したオーディション、地上15mでの鉄棒、鉄棒6本を10人で交差しながら飛び交うアクロバティック&マスク・メイクの人物や動物になりきるアーティストックトレーニング時代、世界の30カ国50都市を巡る今について話されました。

経験の中で得た、「失敗を反省することは大切。」「人生は選択の連続。その状況下で選んだ選択肢は正しい。」「事の反対側を見ようと頭を柔軟にして考える事が大事」などの言葉を残し、最後に「体操が原点。情熱を持てるものが見つかるかもしれない。若さは可能性、自信を持って、情熱を持って進んで下さい」と結び講演は終了しました。



公演先のコロナピアから一時帰国し、桐工にて講演する奥澤先生

総会

● 期日 平成 27 年 6 月 20 日(土)
● 会場 桐生市市民文化会館
4 階スカイホール



今年 は 78 名 が 出 席 され ました。
不在 の 会 長 の 代 行 と し て 議 長 ・ 田 邊 副 会 長 の 進 行 に よ り 会 は 進 み、平 成 26 年 度 事 業 報 告 ・ 会 計 報 告 ・ 監 査 報 告 ・ 支 部 活 動

状況報告。平成27年度事業計画案・予算案・役員変更案をご承認いただきました。また、同窓会表彰者5名に記念品の銀杯が贈呈されました。なお、総会の後は懇親会が開かれ、和やかに会員相互の親睦を深めました。

親善ゴルフ大会

8 月 23 日 (日) に S17D、H14 C と 多 世 代 の 同 窓 生 189 名 が 集 い、桐生カントリークラブにて開催されました。



団体優勝



個人優勝

- ◆ 団体戦(上位5名、ネット合計)
優勝 大間々支部 357.8
準優勝 敷塚支部 358.8
第3位 第11支部 360.2
◆ 個人戦(ネット)
優勝 堀越誠一郎 68.0
準優勝 氏原宏文 68.8
第3位 森田征雄 69.6

ベストグロス賞

- G シニア 武井庄太郎 74
シニア 松島保二郎 78
一般 小堀勝美 70

ニアピン賞

- 齋藤徳司 初谷幸一
中野忠雄 幾井俊雄 氏原宏文
松村 進 長竹敏次 川口和彦

ドラゴン賞

- G シニア 森下和夫
松島武紀 武井庄太郎 森田征雄
シニア 初谷幸一 中山晴雄 新居喜一 田村光市 一般 鈴木孝司 峰岸康雄 井上大輔 阿久津泰弘



5 回 生 17D 荒 船 眞 治 さん 表 彰 式 に て

県外支部活動報告

関西支部

古きをたずねて

風薫る五月、奈良唐招提寺の開山忌のみ公開の鑑真和上像を拝顔し、その後、薬師寺を訪問。平山郁夫画伯の「大唐西域壁画展「皐月展」を鑑賞した。中興の祖と言われる高田好胤師に平成8年4月27日に、支部総会で「こころ」と題して身近に法話をいただいた。般若心経の色即是空の空は、この世の全て。心は、目に見えない心の世界を言い、良い心とは、モノを大切にすることをさらに大事にする心と説かれた。仏法は己の未熟さを気づかせるもの...等々の教えが焼き付いている。師を偲び

(2年後に鬼籍へ)懐かしく思いながら境内の散策を楽しんだ。6月はその朝トラの「マッサン」のサントリー山崎蒸留所へ。丁寧な案内と試飲も楽しめ、TV画面のシーンを思い出しながら楽しいひと時を過ごした。支部設立時70名の会員は、22年の時を経て、物故者・転居・帰郷などで44名となったが、ふる里への想いはさらに募り、会員の親睦は深くなり、個人のアイデアを採用しながらのイベントは新鮮で楽しい。総会へは遠路、本部・静岡・中部からも臨席いただき、肩を組んで校歌斉唱は何とも言えぬ感涙の極みだ。

中部支部

古稀に想う

ついでこの間、還暦を過ぎたと思っていたら「人生七十古来稀なり」の領域に達しました。古来、70歳まで生きることが稀と言われていました。しかし、今では食料事情の多様化や医療技術の進歩そして情操分野の発展等で平均寿命が80歳以上までと格段に伸びているのが現状です。昭和20年終戦の年に生まれた私は、当時、戦後混乱期の衣食が足りない時代に育ちました。幸い実家が兼業農家で自給自足で食は何とか賄えましたが質素なものでした。牛・豚・鶏等の家畜を飼い蛋白質としていました。もつと美味しいものが食べたいと、何か欲しいと言つと「自分の身上になつたら好きなようにやれ」と祖母によく言

われたことが今でも記憶に残っています。戦後生まれが日本の人口の8割を超える今、戦争の悲惨さを風化させないため、あらゆる場面で議論が交わされることは戦後70年の節目の年の関心事です。同窓会の活動は定期総会後、今年も長良川で「鮎を食べる会2015」を実施、秋季行事として3県外支部(関西・静岡・中部)懇親会を琵琶湖で開催しました。

埼玉県支部

埼玉県支部の近況



平成27年度第一回日帰り交流会は、5月28日(木)、東京国立博物館にて開催中の京都高山寺国宝「鳥獣戯画展」を約3時間半待ちで鑑賞し、昼食を上野で食べ、浅草から水上バスに乗り浜離宮公園の庭園を散策して、汐留ニュータウンでお別れティーを飲み16時に解散した。(参加者8名)

埼玉県支部定期総会は、3月14日(土)に、本部より蛭間会長、百海事務局長、上石総務部長の3名を迎え、午前中はグラウンド・ゴルフ大会を楽しみ、昼食会と支部定期総会はホテルマロウドイン熊谷で開催した。午後3時半、来



埼玉県支部長 鈴木栄次(34E)

年の再開をきして散会した。(支部参加者9名)
本部定期総会は、6月20日(土)、桐生市市民文化会館四階スカイホールにて第一部定期総会、第二部懇親会が開催され、埼玉県支部より鈴木支部長が出席した。
○ゴルフ大会関係
埼玉県支部第35回大会 6名
期日 8月6日(木)
会場 サンコー72CC
本部第24回ゴルフ大会 6名
期日 8月23日(日)
会場 桐生CC 全189名

母校訪問

平成27年9月24日に昭和37年卒・機械科1組、9月29日に昭和36年卒・色染科の卒業生による母校訪問が行われました。当日は思い出を偲ばせながら、在学時とは様変わりしました校舎、各科施設等の様子を見学しました。



昭和37年卒 機械科1組15名の母校訪問
正門前にて H27.9.24



昭和36年卒 色染科11名の母校訪問
中庭にて H27.9.29



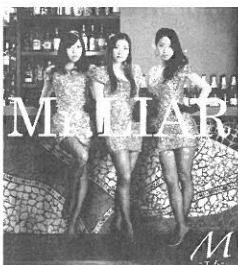
「有薫酒蔵」  
桐工・寄せ書きノート開設

静岡支部・野竹康和支部事務局長(40E2)の「昨年の創立80周年を記念し、同窓生のふれあいの場に・・・」との想いにより、昨年11月17日、東京都港区新橋の居酒屋「有薫酒蔵」に我が母校の高校寄せ書きノートが2690番目に開設されました。



高校寄せ書きノートは、お店に訪れた全国各校卒業生の誰もが母校に寄せる思いを書き込めるもので、1987年に久留米大附高の卒業生が端となり開設され、現在約2700校ものノートが店内の棚四方八方を埋めているそうです。皆様も一度、足をお運びいただき、筆を取っていただけたら幸いです。

(野竹康和)



「Mr. LIAR!」  
タイプAのカップリング曲  
「BIG TIME!」  
は夏川さんが作詞

卒業生で歌手の夏川陽子さん所属のヴォーカルユニット「M-LIE」9月16日に6thのシングルリリース

学校だより

全日制各科の近況

機械科

機械科では、特色ある授業として外部講師を招聘した授業を取り入れています。

高度熟練技能士の青木秀哉先生に、3年生の課題研究で技能検定(普通旋盤作業)の指導を5年前からお願いし、これまで全員合格を成し遂げています。また、本年度から1・2年生の実習(旋盤作業)の指導をお願いし、ものづくりの基礎・基本を伝授して頂いています。

昨年度三次元CADが導入され、ものづくりマイスターの吉原明先生に3年生の製図の時間にソリッドワークスの指導をお願いしました。

また、群馬大学知能機械創製部門 山田功教授に、1年生に「物理や工学っておもしろい」不思議な実験で、物理や工学に興味を持つという演題で実験と講義をしていただきました。

このような特色ある授業を行い、技能検定を中心に資格指導に力を入れ、ジュニアマイスターゴールドが6名、シルバーが2名認定されました。今後指導を充実し、生徒の更なる向上に努めていきたいと思えます。



(写真は高度熟練技能士青木秀哉先生の指導の様子)

電気科



ています。

アベノミクスにより企業業績が上がり始めて、求人数も増えてきました。産業界では多くの卒業生が活躍し求人数に貢献していただいています。

電気科では、これら多様な産業界で活躍できるようにいろいろな指導を行っています。第2種電気工事士の資格を中心に「資格取得」を積極的にを行い、学習に目標を持たせています。1年生では計算技術検定、情報技術検定、2年生では前出の第2種電気工事士、3年生ではP検(Pはプロフィインシーの略でICTを活用した問題解決力の意)を全員受験しています。その他に各種無線技士、危険物取扱者、工事担任者試験などを紹介しています。資格試験によって達成感を持ち、次への資格取得へとチャレンジ精神を燃やし、高校生活が充実したものにしている生徒も少なくありません。

地域貢献活動としては、黒保根中、梅田中に出前授業として生徒が教師役として出向き、環境学習やクリップモーターを中学生と共に製作しました。

今年度も変わらず、職員、生徒一同さらに向上できるように努力していきたいと思えます。

建設科

【建築コース】

○群馬県美術家連盟展入賞(桐生市長賞・6月24日)7月1日・前橋市民文化会館)CAD作品(3K・星野涼平、石原亜実、松本真碧、1K・鈴木太常)

○群馬県高校生ものづくりコンテスト木材加工部門(7月22日・前工・第3位)、同関東大会(8月5日・埼玉県・日本工業大学・第9位)1K・齋藤泰地

【土木コース】

○群馬県高校生ものづくりコンテスト測量部門(8月11日・高工・第5位)(3K・荒木貴弥、澤田琴音、鳥嶋実咲)(同第6位)1K・小林真也、野沢幸汰、横倉竜也)の成績を収めました。

○8月29日に埼玉県戸田市で行われた土木系学生によるコンクリート力大会では、土木研究部員(3K・赤川和彦、磯田龍太郎、井上隆世、福田康介、星野涼平、渡邊雄介、2K・天笠貴子、吉田遥)が初参加。雨と強風の悪条件下でオールが折れ、カヌーが水没しかかるアクシデントを抱えつつ、2レーンを完走する頑張りを見せ「敢闘賞」をいただくことができました。

昨年度全国で準優勝に輝いた「建築甲子園」の制作も着々と進み、その成果が期待されます。(写真はカヌー大会)



染織デザイン科

桐工「染織デザイン科」は、「染め、織り、デザイン」を学ぶ学科です。全国で繊維系の学科が設置されている学校は13校あり、日本で染織を学べる学科は桐生工業だけです。「織の街、桐生」で「織り」を学ぶことは浪漫ある素晴らしいことです。

「染織デザイン科」では、簡単なデザイン画や織りもの・染めもの、長さ4mを超えるタペストリーまで生徒の豊かな感性で制作された作品を年1回の卒業制作展で一般の方々に公開しています。毎年、企業の方をはじめ、地域・保護者の方々から生徒作品に高い評価を頂いています。また、染織デザイン科は地域交流も積極的に行っています。毎年、桐生祭りの中で開催される「染め流し」では2年生の生徒全員が一般の方々が行う草木染めのお手伝いをしています。同窓会から助成金を頂き、染織デザイン部の生徒・職員が制作した手織りのコースターやテーブルクロス、マフラを11月の「買場紗綾市」で展示しました。作品を作った生徒・職員も達成感・成就感を得られ、自信と励みにつながりました。

大変特色のある染織デザイン科であり、昨年度は11月と2月の2回。群馬テレビのニュース番組という番組で生徒・職員が出演し、生徒の作品や学科の内容等も番組を通して紹介することができました。桐生タイムス、上毛・

読売新聞等にも卒業制作展や地域交流のこをとり上げて頂き、紙面で紹介して頂きました。

あらためて、同窓会を初め「買場紗綾市」への参加を認めて頂いた地域の方々には感謝いたします。



有鄰館レナガ蔵での卒業制作展紹介記事(桐生タイムス)

### 定時制の近況

定時制教頭 塩田久敏

同窓生の皆様、定時制教育におきましても変わらぬご支援とご協力を戴き厚くお礼申し上げます。

定時制は四月に15名の新入生を迎え、在籍数48名で27年度のスタートを切りました。生徒の多くは、時間の長短はありますが、昼間は就業しており、職場から直接登校してくる者も少なくありません。

授業終了後は、夜間ということもあり活動時間は制限されたものになつてしましますが、毎日熱心に部活動に取り組む姿を見ることが出来ます。その甲斐あって、本年度はソフトテニス部・剣道部・陸上競技部・軟式野球部の四つの部活動が全国大会への出場権を得ることができました。

軟式野球部につきましては、一昨年の全国大会出場



に際しまして同窓会の皆様より多くの協賛金を戴きました。重ねてお礼申し上げます。今年度は部員不足により、単独チームでの出場は叶いませんでしたが、伊勢



崎工業高校と合同チームを組み、県大会、北関東大会を勝ち抜き、全国大会への切符を手にしました。いずれの部も全国大会での入賞には届きませんでした。生徒にとつては良き思い出として大きな自信になつたと思います。また、部活動だけではなく資格試験や卒業認定試験合格に向けて努力する姿も見ることが出来ます。長期休暇中も毎日のように仕事の後に登校し、課題に取り組む姿には頭が下がります。

定時制では少人数であることを利点とし、生徒一人ひとりに対して非常に丁寧な指導が行われております。また、卒業後も先生方を慕って職員室を訪ねて来てくれる者が沢山います。我々職員もそれに応えるべく、一丸となって「生徒のための学校づくり」に取り組んでいます。厳しい環境の中にあつても元気に働き、勉強し、運動にと頑張っている生徒のために、今後とも温かく、そして厳しくご指導・ご助言くださいますようお願い申し上げます。

### 【全国大会成績】

- ソフトテニス部 (男子ペア)
  - 個人戦 二回戦敗退
  - 団体戦 初戦敗退
- 剣道部 (男子一名)
  - 個人戦 二回戦敗退
  - 団体戦 ベスト16
- 陸上競技部 (男子一名)
  - 砲丸投げ 18m38・予選敗退
  - 円盤投げ 9m99・決勝10位
- 軟式野球部
  - 初戦(大阪・桃谷高校) 敗退

### 部活紹介

#### ロボット研究部

顧問 齋藤伸明

10月10日(土) 第27回全日本ロボット相撲関東大会出場(千葉幕張メッセ開催)に際し、同窓会の皆様に心温まるご支援をいただき深く感謝し御礼申し上げます。

現在、ロボット研は全日本の部(生徒・学生並びに社会人が参加するワンランク上の部門)に出場しています。



「ものづくり」の楽しさを知ることを最大の目標に、全国大会出場に向け、毎日取り組んでいます。

### 吹奏楽部

顧問 谷津成一



本校、桐生工業高校吹奏楽部13名は、平成27年8月2日(日)にベイスシア文化ホールにて行われた第57回群馬県吹奏楽コンクール高校Bの部において銀賞を獲得しました。高校Bの部は最大30名までエントリーできる大会のため、13名という少ない人数では非常に不利でしたが、結果を出すことができました。これも同窓会の皆様の暖かいご支援のお陰です。ありがとうございました。今後ともご支援の程、よろしくお願いたします。

### 関東大会出場(前号発行以降)

ロボット研究部以外にもラグビー部(合同チーム)・自転車競技愛好会(男子個人・団体、女子個人)・体操部(女子個人)・少林寺拳法部(男子組演武団体)・写真部(写真甲子園等)・陸上競技部(砲丸投げ)・各科研究部(ものづくりコンテスト)・電気工事事務部、木材加工部門)と多くの部活動が関東大会に出場してあります。

出場に際し、励金を頂きました事に感謝いたします。



昭28W小林健二氏(ペンネーム赤城健)の小説「アントノメター座の日本人たち」2巻が刊行。弁護士を引退後、洋画家・小説家に転身されました。(北海道在住)

### 事務局だより

同窓会表彰者

- 新井功一氏 27W1 (経産大臣表彰)
- 新井潤一氏 30W (経産大臣表彰)
- 秋葉良三氏 30M1 (国交大臣表彰)
- 高草木茂氏 42TE (経産大臣表彰)
- 樽井 哲顧問 (瑞宝小綬章)

就任役員

- 大谷龍二校長 (顧問)
- 後藤新平氏 35M (常任幹事)
- 小島 登氏 42M2 (常任幹事)
- 福田康嗣氏 45W (常任幹事)
- 林 茂氏 40D (常任幹事)
- 村岡俊村氏 41E1 (常任幹事)
- 小田部恒夫 41A (第8支部長)

退任役員

- 江原 満氏 24/25D (常任幹事)
- 荒木康夫氏 34TM (常任幹事)
- 岩崎朝七氏 32W (常任幹事)
- 初山和雄氏 32M2 (常任幹事)
- 井上和三氏 28W (常任幹事)
- H27年6月11日逝去・80歳
- 田所敬雄氏 39M2 (常任幹事)
- 後藤新平氏 35M (第8支部長)

本部事務局

- 一ノ瀬真一 (機械) 新事務局就任
- 中村 誠 (建設) "
- 新井 博 (機械) 係退任
- 塩野入浩二 (建設) "

### 編集後記

母校では数年掛けて行われてまいりました耐震改修工事が最終年を迎えています。風景は日々移り行きませんが、懐かしい学び舎を頭に思い浮かべ、心に描き、御愛読いただきました。本号も編集にご協力いただきありがとうございました。